

あなたとつなぐ

甲賀
こうか

市議会だより

KOKA city assembly report

平成30年(2018)08.01

vol.55

Contents



- 02 議案審議・意見書
- 04 議員研修・広報視察受入・議員表彰
- 05 常任委員会報告
- 09 特別委員会報告
- 10 特集①／29年度政務活動費報告
- 11 一般質問／市の考えを問う
- 23 特集②／議会報告会
- 24 新シリーズ／あなたとつなぐ市議会議員紹介

PHOTO [市内小学校の自然体験学習]

議案審議 (6月定例会)

男女共同参画を推進する条例を全員一致で可決

平成30年6月議会は、6月4日に議案条例・提案説明を受け、28日まで開催され、執行部からの提出案件18件と、意見書案8件、計26件を審議しました。

人事

◆固定資産評価員

地平 勝弥氏(土山町)
(全員賛成にて同意)

専決処分

◆条例の一部改正

- ◆国民健康保険税条例の一部改正
- ◆病院事業設置等に関する条例の一部改正

- ◆平成29年度一般会計補正予算(第10号)

- ◆平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
(以上5件 全員賛成にて承認)

条例

- ◆男女共同参画を推進する条例
男女共同参画社会を実現するための条例制定。

主な質疑

◎条例にある「ダイバーシティ」という言葉が適切な言葉なのか



疑問。定義の説明も不十分ではないか。

A LGBTも含め多様な人々を尊重する地域社会の姿を見据えている。性別にとられず、ひとりひとりの個性を認めあうという意味等を含む。
(全員賛成にて可決)

条例の一部改正

◆特別職の職員の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例

選挙事務不適正処理に伴う再発防止のための事業経費に充てるため、市長、副市長、教育長の給料の減額により条例の一部を改正。

主な質疑

◎特別職の給与を減額するものだが、どれだけの財源が確保できるのか。市長は事件の責任についてどう認識しているのか。

A 約51万7千円の確保となる。事件について責任を痛感している。司法の結果が明らかにされた段階で適切に対応したいと考える。

◆条例等

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

省令改正に伴い、基準を定める条例の一部を改正。

主な質疑

◎支援員の任用基準が改正されるが、緩和することにならないのか。支援員の不足を補うため

には、処遇改善こそ必要ではないか。

A 基準は変わるが、質と専門性は担保している。処遇については、人件費3%の引き上げを行っている。

◆保育園設置等に関する条例

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

◆介護保険条例

(以上6件 全員賛成にて可決)

予算

◆平成30年度一般会計補正予算(第1号)

緊急に対応が必要な施設整備、選挙事務不適正処理に伴う再発防止対策費などの財源確保のため特別職及び管理職手当を減額することなどにより補正するもの。
補正額 19億1839万9千円
補正後の額 391億4839万9千円

主な質疑

◎再発防止のための費用を特別職だけでなく管理職全員から管理職手当を削減したのはなぜか。

A 信頼を失墜させ、社会的に与えた影響は大きい。管理職も含めた減額により、市役所の姿勢を市民に示すものとした。

議案審議・意見書

反対討論

緊急に必要な事業が計上されており、全般的な内容は理解できる。しかし、選挙の不正に関し再発防止策の経費を、管理職全員から管理職手当を減給し、財源確保する点は問題。部長から管理職への説明時、意見がなかったため同意を得たと判断したとのことだが、労働基準法の原則からも、「処分」でない限り「同意」が必要。市長の職員との対話を尊重する姿勢からも、時間をかけた話し合いが必要ではなかったか。管理職の減給でなく予備費充当が妥当である。

賛成討論

国・県の補助を受けた事業、緊急性がくみ取れる事業が計上されており、補正は妥当と判断する。管理職手当の減額についても、再発防止策の費用捻出という点、失墜した信頼の回復の意思を内外に示す点からも意義のあるものである。また、管理職が市長の意思を尊重し同意していること、法的に齟齬はないことの説明を受け理解した。

(賛成多数にて可決)

契約

◆ 信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館等建設工事

○ 建築主体工事

請負業者 三陽建設株式会社
請負契約額 10億1844万円

○ 電気設備工事

請負業者 甲賀電気設備株式会社
請負契約額 2億2842万円

○ 機械設備工事

請負業者 甲賀電気設備株式会社
請負契約額 1億6988万4千円

(全員賛成にて可決)



信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館パース図

事務の変更及び規約の変更

◆ 甲賀広域行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更

(全員賛成にて可決)

意見書 議決内容

○：賛成 ●：反対

議案等の名称	提案者	討論		凛風会	志誠会	共産党	公明党	無所属クラブ	無会派(鵜飼)	結果
		反対	賛成							
ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書	堀	—	—	○	○	○	○	○	○	可
旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書	白坂	—	—	○	○	○	○	○	○	可
地域材の利用拡大推進を求める意見書	田中將	—	—	○	○	○	○	○	○	可
あらためて森友・加計疑惑の徹底究明を求める意見書	山岡	—	小西	●	○ 土山 田中新 田中喜	○	●	○	●	否
まともな働き方改革の実現を求める意見書	小西	里見	竹若 岡田	●	●	○	●	○	●	否
TPP11を断念し、平等・互恵の経済関係を求める意見書	小西	辻	岡田	●	●	○	●	○	●	否
原発ゼロ社会をめざし自然エネルギーへの転換を求める意見書	岡田	白坂	山岡	●	○ 土山 田中新 田中喜	○	●	○	●	否
生活援助サービスの利用制限導入中止を求める意見書	岡田	橋本律	山岡	●	●	○	●	○	●	否

議員研修・広報視察受入・議員表彰

全議員研修

もつと議論する議会改革

議会改革の方向と一般質問のあり方



5月17日、甲賀市役所にて、講師に龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏をお招きし、「もつと議論する議会改革」という内容で講演いただきました。また、全議員がワークショップ形式で、議会での課題や意見を出し合い、講師がその意見をまとめながら、共通の認識を持ちました。

一般質問から出た課題を議員間で共有し、常任委員会で議論するなど、これからの議会改革について大変勉強になる内容で、これから議会での議論が楽しみです。



広報視察研修受入

福井県大野市

6月29日に福井県大野市から議会日より編集委員会が来られ、甲賀市の議会だよりの取り組みについて視察研修がありました。議員が主体的に編集作業を行なっていることや、写真をふんだんに取り入れて読みやすく工夫していることなどを評価していただきました。お互いの議会だよりの編集について活発な意見交換を行いました。



議員表彰

的場 計利 元議員

第94回定期総会において全国市議会議長会より通算10年以上議員として在職されたことに対し表彰されました。



的場元議員(左)と林田議長

常任委員会報告

予算決算常任委員会

当初予算・補正予算、決算の審査をする委員会です。



付託議案

補正予算(第1号)他を審査

6月25日に委員会を開催し、専決処分「平成29年度一般会計補正予算(第10号)」と平成30年度補正予算(第1号)について審査。全員賛成及び賛成多数で可決すべきものと決しました。

寄付及び市税等が確定

議案第52号専決処分の承認「平成29年度補正予算(第10号)」は、寄付金の積立及び決算見込みに基づく市税及び地方交付税の確定に伴う財源更正等。
(全員賛成にて承認すべきものと決定)

緊急対応が必要な施設整備

議案第61号「平成30年度補正予算(第1号)」は、緊急に対応が必要な施設整備、昨年の秋の衆議院小選挙区における開票事務不適正処理に伴う再発防止策費などの財源確保のため特別職と管理職手当を減額するというもので、歳入歳出それぞれ19億1,839万9千円を追加し、総額39億4,839万9千

平成30年度一般会計補正予算(第1号)

今回の補正予算案は、国の補助採択を受けた緊急施設整備など歳入歳出19億1,839万9千円を追加するもの。主な事業は…

■ 主な施設整備事業

水口小大規模改造工事	5億3,840万円
希望ヶ丘小大規模改造工事	3億8,760万円
甲賀中大規模改造工事	4億4,220万円
信楽体育館災害復旧工事	1,640万円
信楽高原鐵道勅旨駅ホーム改良	450万円
水口体育館整備事業	2億1,050万円
西部学校給食センター建設	2億2,520万円

■ 水口小学校女児の水難事故を受け通学路緊急再点検による主に側溝改修とグレーチング設置

工事費と設計業務委託 4,000万円

■ 選挙事務不適正処理再発防止策の実施

- コンプライアンス研修 50万円
- 選挙事務不適正再発防止委員会の実施 84万1千円
- コンプライアンス研修及び甲賀市選挙事務不適正処理再発防止委員会の実施に係る経費 224万6千円

以上、358万7千円を特別職と管理職全員から手当を減額することで、これに充当する。

円とするもの。

地方創生関連一部見直し

地方創生推進交付金29事業のうち6事業の国の交付決定がなかった。主に日本遺産認定を活用した観光戦略だが中止や減額。委員からは「意気込みは理解できるが、観光戦略について根本的な方向性が示されていない」など問題点を指摘。事業の目的・積算根拠を明確にし、必要なら一般財源も含めて、ひとつひとつの事業を成功させるために総合政策部を軸に各課の連携と努力が必要と指摘しました。

選挙不適正処理について

選挙の不適正処理と再発防止策

水難事故を受け緊急整備

下校途中の女児が側溝に流され命を落とすという水難事故を受けて、教育委員会が緊急点検を実施。側溝改修やグレーチング蓋の設置費4千万円が計上されました。

水口体育館等建設費も

このほか、水口体育館や西部学校給食センター、小中学校の大規模改造工事、信楽体育館の災害復旧工事も盛り込まれています。

反対討論

220人の管理職全員から同意もなし、規約や規則にも明示がないのに市長提案で管理職手当を減額するのは問題。

賛成討論

選挙にかかる財源確保は、市をあげて再発防止に取り組む市長の強いリーダーシップを表す。法的根拠も得ている。

(賛成多数にて可決すべきものと決定)

常任委員会報告 総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

付託議案

条例案2件、事務規約案1件、契約案3件、専決案1件を慎重審査

6月21日に委員会を開催し、付託された議案7件を慎重に審査し、いずれも原案の通り可決すべきものと決しました。

条例の一部改正

税条例

この税条例の改正は、国の税法改正が施行されたものに準じての改正で、市民税、たばこ税、固定資産税資産関係です。たばこ税は平成34年まで段階的に増税となるものです。

☑ 太陽光発電は、固定資産税の税収となるのか。

Ⓐ 今後、新設される資産が対象であり、今は把握できない。

特別職の職員の給与、教育長の給与に関する条例

平成30年7月から同年9月分における市長の給与10%、副市長の給与8%、教育長給与の5%を減額する改正です。

これは、昨年に行われた衆議院選挙の開票事務不適正処理に関し対応される費用の財源確保です。税金に頼ることなく対応するものです。

☑ 税を充てるのではなく、特例として給与を充てるのが適当か。

か。

Ⓐ 社会的な影響が大きかった事例であり特例扱いとしたが、責任を問うものではない。

事務の変更及び規約の変更

甲賀広域行政組合の処理する事務の変更及び規約の変更

甲賀広域行政組合の共同処理する税務事務のうち市税の滞納繰越整理を削り、組合規約を変更するものです。

契約

信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館等建設工事

信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館建設工事・信楽開発センター改修工事・信楽開発センター増築工事等入札の契約3件について議決を求めるものです。



信楽地域市民センターイメージ図

専決処分

税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が平成30年3月31日に改正されたもので、文言の修正などです。

採決 以上7件全員賛成にて可決すべきものと決定

所管事務調査

付託議案審査の後、次の6件について所管事務調査を行いました。

● 例月出納検査の結果について事務処理に不適切があり改善を求めた。

視察研修

- 旧鮎河小学校・山内小学校等の利活用に関する状況について
- 第2次甲賀市国土計画策定に向けた進捗状況と今後
- 甲賀市と張家界市(中国)交流事業
- 公共施設の最適化計画
- 平成31年度予算編成方針

富山県射水市及び福井県坂井市において7月9日、10日に公共施設総合計画(合併前に整備された公共施設の更新期問題)と空き家活用プロジェクト(入居や出店をサポートし賑わいを目指す)の取り組みについて行政視察を行いました。



福井県坂井市空き家活用プロジェクト現地視察

常任委員会報告

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

付託議案

専決案3件、条例案4件を慎重審査

6月20日に委員会を開催し、付託された議案7件を慎重に審査し、いずれも原案の通り可決すべきものと決しました。

専決処分

国民健康保険税条例の一部改正

「提示を求められた場合には、これらを提示しなければならぬ」の解釈は。

例えば、ハローワークで離職票提出時、マイナンバーでの確認ができない場合、雇用保険受給資格者証の提示を求めることになるとのこと。

病院事業設置等に関する条例の一部改正

平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
新しい基準による支援員の資質の確保は。

実務経験、勤務姿勢等を確認する。常勤が必須ではないが、継続性が大切であり、夏休みだけなど短期の勤務であれば、継続性の観点から勤務年数に

計算されないと、国のQ&Aに記載されている。

支援員が不足していると聞くと現状は。

確保が厳しい現状がある。改正により、新たな資格者が増えることを期待する。



人材確保が急がれる放課後児童クラブ

保育園設置等に関する条例

山内学区の保護者の了承を得たのか。

山内学区幼保・小中学校再編検討協議会が2月に未就学児を含む全保護者への説明会・意見聴取の会を開催され、理解を得たと報告を受けた。

閉園後については。閉園式は。

保育幼稚園課が、行政財産として10月以降は普通財産として管理する。今後の利活用は、総合政策部が事務局となり、「旧山内小学校・保育園跡地利活用検討協議会」で小学校も含め検討している。式典は、保育園が既に休園しており現在は検討していない。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

介護保険条例

以上7件全員賛成にて可決すべきものと決定

所管事務調査

●自殺対策計画について
自殺対策基本法(平成28年一部改正)に基づき、(仮称)甲賀市自殺対策計画を、平成31年度から35年度の計画として定めるものです。セーフコミュニティ自殺対策委員会等で把握した市の課題も検討されます。

報告事項

- 通学路点検の状況報告
- 新水口体育館建設に伴う検討委員会からの提言書
- 再編検討協議会の進捗状況

(雲井学区保育園・小学校再編検討協議会)

(小原小学校再編検討協議会)

●保育園及び認定こども園実施計画検討協議会の開催状況

(水口地域公立保育園実施計画検討協議会)

(水口東・岩上保育園統合認定こども園実施計画検討協議会)

(伴谷幼稚園・伴谷保育園統合認定こども園実施計画検討協議会)

以上4件の報告を受けました。

視察研修

委員会では7月11日、12日に岡山県新見市、兵庫県小野市及び川西市において行政視察を行いました。新見市ではICT教育の推進、小野市では学校給食センターの整備・運営、川西市では市民体育館についてそれぞれ視察研修しました。



小野市ではモニターで説明を受ける

特別委員会報告



開票事務不正調査

昨年10月22日に執行された衆議院選挙第4区における開票事務作業で、甲賀市選挙管理委員会による不正が、2月1日に市長への内部通報により発覚したことを受け、3月定例会において設置しました。本委員会は議長を除く全議員で構成し、開票所での不適切処理について、事案の検証や調査等を行い、再発防止等につなげることを目的に、これまでに委員会を3回開いています。

第1回目は本会議会期中の3月26日に開き、正副委員長互選と委員会の目的、調査方法、日程等について協議しました。

第2回目は4月17日に、第3回目は5月17日に開き、説明員として選挙管理委員長を始め選挙事務局及び市総務部長の出席を求め、これまでの経過報告、開票事務従事者160名へのアンケート集計結果、弁護士3名による職員29名への聞き取り概要など及び第三者委員会での審議状況の報告を確認し、事実関係の把握をしつつ、職員の意識や法令遵守、選挙事務の改善、各種マニュアルの見直し、選挙管理委員会の体制などの問題点を指摘し、再発防止に向けて調査をしました。

現時点では検察庁へ送検されている段階であり、告発された4人からの聴取内容は開示されず、刑事訴訟法に抵触する可能性があるため答弁できないなど、真相解明には至っておらず、今後、原因究明、事案の背景など本質に迫り、民主主義の根幹をなす選挙の適正な執行と再発防止の徹底に向けて引き続き協議を行っていきます。

議会改革推進

議員政治倫理条例 制定に向けて

本委員会の当面の役割

改革 その1

議員政治倫理条例制定に向けての検討

改革 その2

タブレット端末導入と利用規程の検討

議員活動のペーパーレス化を目指して

改革 その3

議会基本条例の進捗確認と具体策の検討

本年3月議会において「より開かれた議会」を目指し、議会改革推進特別委員会が発足しました。委員の構成は、各党派（無党派も一党派と見なす）から各1名を選出しました。

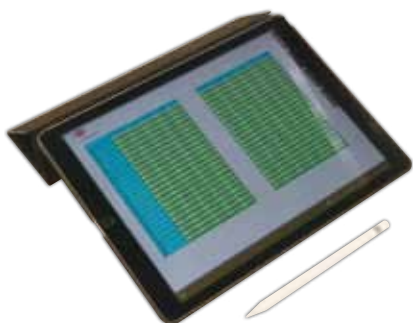
今年度に入り4回の委員会を開催し、「議員政治倫理条例」の制定に向けての研究や検討・協議と並行して、議員活動のペーパーレス化を目指し、タブレット端末の導入と、利活用ガイドライン制定に

向けて検討を進めています。

「議員政治倫理条例」は、平成25年3月に議会の最高規範として制定された「甲賀市議会基本条例」を補完する条例として、遵守すべき議員としての政治倫理基準等を定める条例です。各党派の意見も集約し、更に委員会にて議論を深めていきます。

タブレット端末については、既に機種選定とシステムの選考並びに、利活用ガイドラインの制定も完了し、7月末から研修・試行に向けて着々と準備を進めています。

今後は、議会基本条例で定めている諸事項の進捗状況を確認し、より開かれた議会を目指し、未着手項目の洗い出しと、その対応の具体策検討を進めていきます。



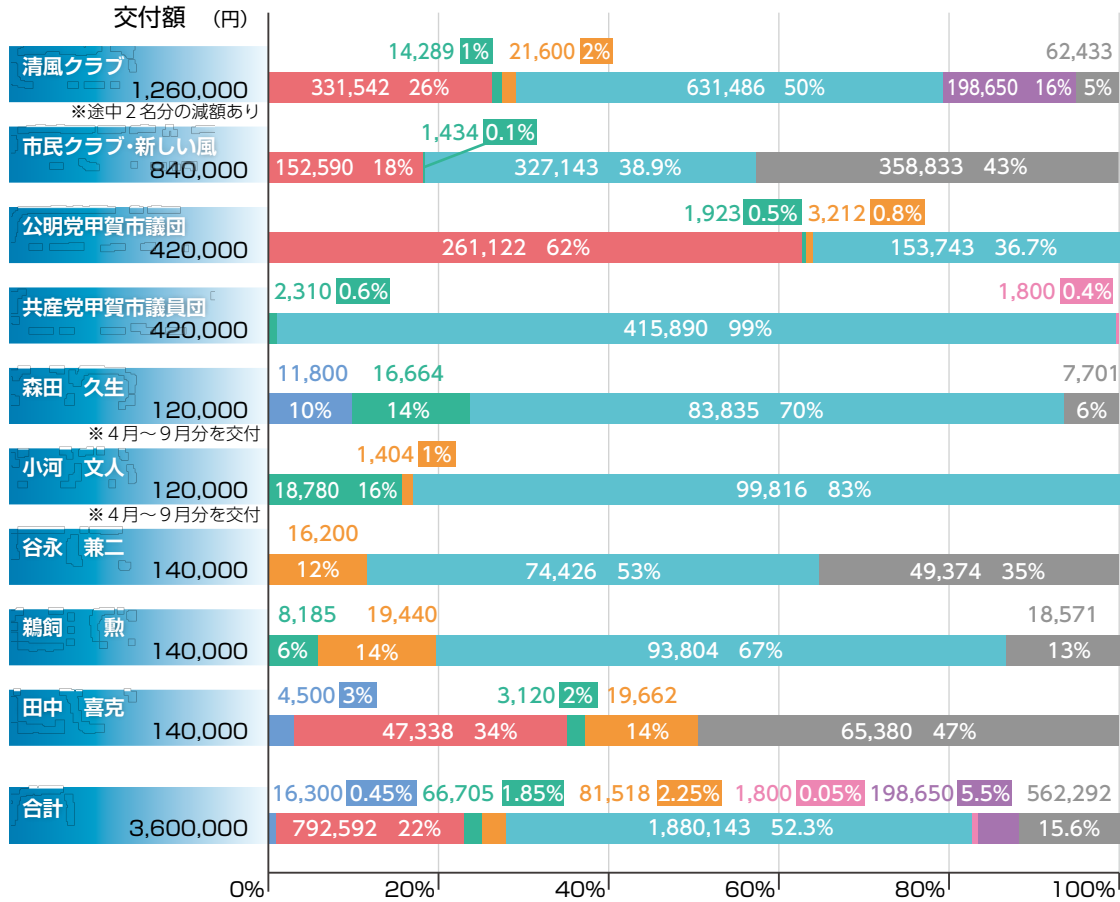
今年7月末から導入予定の
タブレット端末

平成29年度 平成29年4月1日～平成30年3月31日

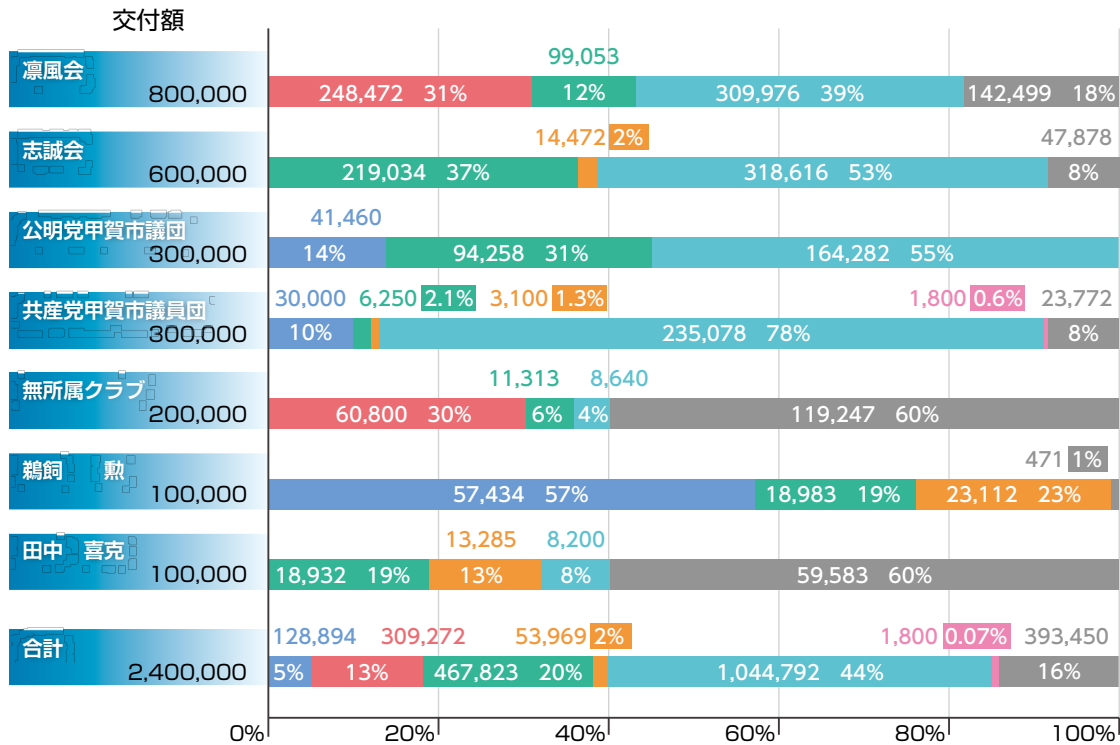
各会派別政務活動費報告

研究 研修費	調査旅費	資料 作成費	資料 購入費
広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	残額 (市へ返還)

平成29年4月～10月交付分
(平成29年10月31日任期満了) 收支状況



平成29年11月～平成30年3月交付分
(平成29年11月1日第5期任期開始) 收支状況



議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として政務活動費が交付されています。政務活動費は、議員1人1ヶ月2万円で、所属会派(無所属議員にあっては個人)に交付し、年度末にその用途を明確にして精算し、残金は返還しました。

22人の議員が市の考えを問う

平成30年
6月14日・15日・18日・19日

目次

平成30年 第3回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	おがわ 小川 文人	1 甲賀のお茶「寒干害」について 2 県立信楽窯業試験場の移転計画について	13	たなか 田中 将之	1 第2次甲賀市観光振興計画について 2 ペースメーカー等を埋め込み手術された方への電磁波防護服の給付について 3 マーケティング4.0とこれからの自治体運営
2	たなか 田中 喜克	1 小学生の側溝転落事故について 2 水口市街地の活性化、市街地内遊休地の活用について 3 日本遺産の物語に「信楽高原鐵道の新駅設置を」について	14	おかだ 岡田 重美	1 原発ゼロと原子力防災について 2 介護保険の利用料と保険者機能強化推進交付金について 3 土山での乳幼児健診の再開について 4 旧東海道松並木の松枯れ対策について 5 悲しい事故を起こさないために通学路の安全点検と対策について
3	えびすわき 戎脇 浩	1 通学路の安全対策について 2 会議・審議会等の広報のあり方について	15	たになが 谷永 兼二	1 学校教育現場におけるカラーユニバーサルデザインと色覚に配慮したチョークの導入について 2 コミバス無料乗車券交付事業と障害者福祉車両運賃助成の見直しを 3 地域おこし協力隊の展望について
4	いとめ 糸目 仁樹	1 自助・共助を高める防災コミュニケーションについて 2 コミタクの配車場所、時刻、ルートの改善について 3 甲賀市内空き地の植物工場誘致について	16	やまなか 山中 修平	1 コミュニティバス事業への補助金と利用客拡大について 2 凍結防止剤(塩カル)散布事業について
5	もりた 森田 久生	1 第72回全国植樹祭の式典会場候補地に「鹿深夢の森」決定を受けて	17	はしもと 橋本 恒典	1 地域におけるLED照明導入促進について 2 市内のプールの現状について 3 子育て世代包括支援センター「ここもーり」開設1年
6	しらさか 白坂 萬里子	1 健康寿命を延ばす介護予防対策について 2 公営住宅対策について 3 子どもの命を守るワクチン接種及び予防接種について	18	やまなか 山中 善治	1 太陽光発電のまちづくりにおける有効性について 2 「ホストタウンでシティセールス」を問う
7	うかい 鵜飼 勲	1 単一性障害・双極性障害の実態認識と支援および市職員のハラスメントに対する危機管理について	19	こにしき 小西 喜代次	1 お茶の寒干害対策について 2 売電目的の太陽光発電施設の規制と環境対策について 3 小学校での「道徳」と「英語」の教科化への対応について 4 旧甲賀病院跡地について
8	たなか 田中 新人	1 子どもの安心安全のまちづくりについて 2 農業問題について 3 若者定住について	20	おくだ 奥田 宏嗣	1 住み良い地域環境を整えていく為への空き家対策について 2 耕作放棄地の問題について 3 通学路及び事故多発地点での安全対策について
9	やまおか 山岡 光広	1 歴史的な南北朝鮮及び米朝首脳会議について 2 貧困打開に向け生活保護の拡充、「しおり」やHPの改善について 3 国民健康保険税における子どもの均等割軽減について 4 保育所の待機児童対策について 5 農道磯尾34号線の市道認定について	21	たけわか 竹若 茂國	1 甲賀市のスポーツ活動における指導の状況について 2 甲賀市内の幼稚園、保育園の現状について 3 甲賀市の観光産業の振興について 4 人権尊重の宣言、非核平和都市宣言のモニュメントの設置について
10	ほり 堀 郁子	1 水難事故について 2 がん対策について 3 甲賀市ひと・まち街道交流館裏の公園について 4 里山の風景を守るふるさとづくりについて	22	さとみ 里見 淳	1 消防団ポンプ車の免許問題について 2 余裕教室活用ガイドラインについて 3 紫香楽宮跡を特別史跡に
11	はしもと 橋本 律子	1 わが市の障がい者就労定着支援の今後について 2 より効果的な地域公共交通へ			
12	つちやま 土山 定信	1 通学路の安全確認 2 市道の道路整備について 3 次回の知事選挙の開票体制について			

■答弁者の凡例

総合政策部長	総政部長	市民環境部長	市環部長	危機・安全管理統括監	危機統括監
産業経済部長	産経部長	こども政策部長	こ政部長	健康福祉部長	健福部長
				農業委員会事務局長	農委局長

公職選挙法メモ 議員が選挙区内にあるものに対して寄付をすることは、いかなる名義でも禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小河 文人

Q 窯業試験場を陶芸の森入口私有地へ

A 県と連携し必要な取組みをする



Q 信楽窯業試験場の建替えが検討される中、陶器業界から県知事に対し陶芸の森前の未利用地（私有地）への移転建替の要望が出された。窯業試験場は、新製品の開発や技術研鑽、後継者育成など業界との密接な関係が構築されている。陶器業界からの要望をどう受け止めているか。

市長 要望については去る5月8日、信楽地域経済団体代表の皆様から滋賀県知事要望の後、直接面談し書面で提出頂いた。

陶芸の森入口付近の私有地は、県を代表する地場産業の産地で、かつ歴史と伝統ある観光地の玄関口であり大きな課題と受け止めている。本試験場移転整備事業については県に担っていただくものではあるが、本施設は甲賀市にとって重要な施設であり、信楽焼産地の未来には不可欠な施設と認識している。

この事から、陶芸の森と窯業試験場を一体的に活用していくと



建替え検討中の県立窯業試験場

いう県の方向性は、信楽焼産地にとって有益で、本市も共通認識に立てる。今回提出された地域の思いを前向きに捉え施設の移転や土地の活用について、県、市、地域それぞれの将来ビジョンや思いが成就できるよう、県や地域の皆様としっかりと連携・調整を図りながら、必要な取組みを進めていく考えである。

田中 喜克

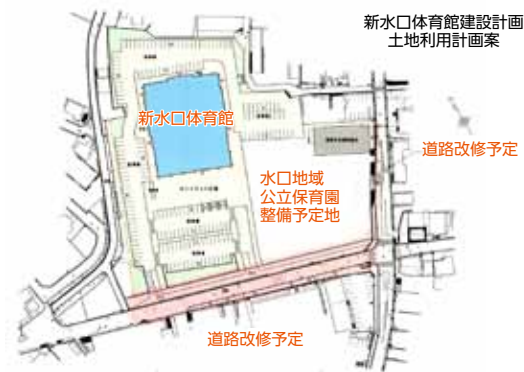
Q 信楽高原鐵道に新駅設置を

A 費用対効果、経営等考慮し検討



Q 公立病院跡地を甲賀市の中心地として位置付け、利用活用を計ることができないか。

市長 この地は、水口体育館、水口地域公立保育園の整備が最適であると判断し、整備に取り組んでいる。これら施設整備が市街地の機能やにぎわいを高めていくと、確信している。



甲賀病院跡地に新水口体育館および水口地域公立保育園を整備

Q 水口市街地内の遊休地の活用は。

総政部長 先ずは「公共施設の最適化計画」に基づき施設の統廃合など緊急性のある課題を優先させる。市街地内の遊休地活用はこれを踏まえて慎重に対応していく。

Q 「小学生の側溝転落事故」など二度と痛ましい事故が起こらない為の取り組み活動はどのように。

市長 今回の事故を教訓として、市民の安心安全なくらしが出来るようにあらゆる部署部門で積極的に取り組んでいく。

Q 甲賀市民の命を守る最後の砦「甲賀病院の救急医療体制の現状」は。

市長・健福部長 甲賀病院は甲賀圏域の第二次救急医療機関として有り、より重篤・緊急度の高い患者は、ドクターヘリなど使い三次救急医療機関に搬送収容する。

Q 日本遺産「忍者・信楽焼」発信をぜひ高原鐵道新駅設置で勢いを。

市長 日本遺産に直結鉄道は魅力。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

戒脇 浩

Q 通学路に更なる安全対策を

A より強い姿勢で改善に臨む



Q 通学路、集合場所は住宅・交通事情の変化により、安全性も変わるが現状は積極的な見直しが行われていないと感じる。見直しをシステム化すべきではないか。

教育長 年度末に現状の通学路、集合場所が、本場に適切かどうかを検証する仕組み、また一年間の中でも再確認する仕組みも必要だと考えている。

Q 個人情報保護の観点から新入生の情報は保護者に伝わりにくい。学校現場が多忙を極めていることは承知しているが、学校も見直して積極的に関わらるべきではないか。

教育長 通学路や集合場所の決定に際しては、地域と学校、そして保護者が協議をしながら、より安全な通学路を設定することが重要であると考えている。

Q 各小中学校で年間2箇所の危険箇所を重点的に改善するための「通学路合同点検」が行われているが、関係機関も多く、連携・連



地域・保護者・学校などが結集して行われる「通学路合同点検」

絡体制に問題が見受けられる。事務局を担う教育委員会は、道路管理者や公安に対し、調整役にとどまるのではなく、子どもたちの安全のために強い姿勢で臨むべきではないか。

教育部長 今後は危険性、要因を十分に把握し、関係部局へ強い姿勢で対応を求めると共に、積極的に対応できる組織づくりに努める。

糸目 仁樹

Q 乗合型交通コンビニニクル導入を

A 然るべき時に検討する



Q コミタクはコミバスよりも利便性が大いに増したが、停留所まで行けない方も多く課題が残る。停留所を設けず、複数の乗車希望情報を基に、ドアツードアで効率よく乗降が可能となる東大開発の乗合型交通システムコンビニニクル導入を検討頂けないか。新規設備の導入はなく安価に運行が出来るため、試験運行も容易に出来る。

市長 昨年10月に抜本的なコミタク再編をし、今のところ支障がないため、当面はこのシステムで継続したい。ただし、国交省においても、利便性の向上を目的に規制緩和を検討していると聞く。それを踏まえ、今後適切な時期が来たら議員提案のコンビニニクルも含め、先進事例を参考に検討したい。

Q 大災害が起きたら、行政の救援たる公助はなかなか行き届かない。自助・共助力を予め高める必要がある。その為に、市民や各団体にどこまで備えて頂くか具体的に打ち合わせる会議を定期的に行かないか。

危機統括監 自治振興会や自治会の会長が集まる協議会等で市の考えを説明していけるように検討したい。



福井県高浜町のコンビニクル

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

久生 森田

Q 全国植樹祭に向けた市長の所感は

A 全市民英知を結集しオール甲賀で



今回は、天皇后両陛下をお迎えして平成33年春に甲賀町「鹿深夢の森」をメイン会場に開催の「全国植樹祭」に向けての取組み姿勢等について伺うと同時に、市民意識高揚に向けて、私なりに「4つの提案」を行いました。

Q 全国植樹祭成功に向けて、ホスト市長である岩永市長の所感

市長 全国に向けて甲賀市を発信できる絶好のチャンスと捉え、市民・企業・関係団体の英知を結集し、オール甲賀の態勢で取り組む。

Q ①地元、甲賀町内での「まちの美化運動」の徹底展開の提案。

市長 自治会・自治振興会等と連携し「郷土愛」をもって徹底した美化運動実施の働きかけを行う。

Q ②百二十年間続いている、大原小学校の愛林活動の全国植樹祭への参画機会の確保に向けた提案。

教育長 学校・担当部を通じ、



第72回全国植樹祭 メイン会場に内定の「鹿深夢の森」

主催する県関係者等と調整する。

Q ③「緑の少年団」の全国植樹祭への参画に向けた提案。

産経部長 天皇后両陛下のお手植え介添え等、開催地として重要な役割を担って頂くこととなる。育成強化も含め取り組む。

Q ④おもてなしの心醸成のため「まち中花いっぱい運動」の提案。

産経部長 プランター設置等、市民一体となった取組みとした。実行委員会にも提言して行く。

白坂萬里子

Q 健康寿命を延ばす介護予防対策を

A 地域で継続できる環境を推進



Q 介護保険制度が始まって以来介護保険料の推移は。

健康部長 2585円から現在5940円と2.3倍になっており、2025年の将来予測では7000円程度になる見込み(平均額)。

Q 長寿化に伴う社会モデルの変化に対する行政の在り方は。

健康部長 社会福祉協議会と連携し、地域での見守り支え合いネットワークの構築をめざし、「包括支援体制構築事業」を進める。

Q 介護従事者への拡充は。

健康部長 「甲賀市介護人材確保・定着促進協議会」の準備をし、「外国人技能実習制度」等の導入も視野にあらゆる角度から実行する。

Q フレイルチェック(介護が必要になる手前の状態)測定の導入を。

健康部長 水口地域包括支援センターでは行っているが、他の地域においても検討していきたい。

Q 健康寿命を延ばすための取り



組みと健診受診率の向上を。
健康部長 「健康寿命を延ばそう事業」を開始した。市全体では健康体操の普及やウォーキングコースの設定・プラス10分の運動の推進を行っている。健診受診率は現71%から80%へと目標を掲げ取り組んでいく。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

鵜飼 勲

Q ハラスメント外部相談窓口の設置

A 予算面を含め早期に検討を進める



Q 単一性障害・双極性障害（うつ病・そううつ病）を発病した患者や家族がおかれている認識は。

健福部長 患者については年々増加している。病の性質上、早期の相談窓口が必要と認識している。

Q 患者や地域家族会に対する活動支援にかかる認識は。

健福部長 精神障がいに対する、誤解や偏見が生じている現状がある。「親亡き後」の生活にも憂慮されていると認識している。家族会からの要望については、今後の障がい福祉計画に反映したい。

Q 「心のバリアフリー教育」についての認識は。

教育長 子どもの年齢に応じた内容で学習し、障がいについて正しく理解し偏見や差別を無くする教育に取り組んでいる。

Q 精神障がい者支援の総括は。

市長 家族会の集まりは、心強い存在であると考えている。関係機関との連携を図りながら市行政

としてできる限りの支援を行いたい。

Q 職場環境に起因する職員の長期休暇からの復帰支援は。

総務部長 人事課において休暇中も復職支援に万全を期している。

Q メンタルヘルスにかかる認識は。

副市長 相談件数と実態は真逆の方向と認識している。

Q 危機管理に対する認識は。

市長 外部相談窓口設置を進める。



千葉県精神神経科診療所協会HPより

Q 通学路の安全確保の取り組みは。

教育長 甲賀市通学路交通安全プログラムに基づき、各関係機関が連携して、通学路合同点検を実施し、安全確保を図っている。水路等の危険箇所も、各学校で緊急点検を行い、現在集約中である。

Q 交通事故撲滅に向けて行政としての活動や取り組み等は。

市環部長 小中学校、保育園、幼稚園に outgoing 甲賀警察署との連携により交通安全教室を実施。

Q 子どもの通学路・国道1号・里北脇交差点の右折信号の要望は。

市環部長 甲賀警察署へ提出。最終設置判断は滋賀県警察本部及び滋賀県公安委員会平成31年度に結果が判明する予定である。

Q 白線の引き直し等、路面表示の補修の今後の対策は。

市環部長 職員による発見や区自治会や市民の通報により、現地確認後、甲賀警察署へ補修依頼。

Q 子供の安心安全のまちづくりは

A 児童生徒の通学路安全確保を図る



矢印信号のない里北脇交差点

Q 水口中学校入り口交差点対策は。

教育部長 交差点の状況は十分に学校や教育委員会も認識。周辺の道路整備状況を見ながら、安全な通学路の選定を考えていく。

Q 学校再編と放課後の過ごし方は。

教育理事 今後再編の方向性が示されると、バス通学も増えることが予想され、地域の状況、保護者の考えを伺い検討する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山岡 光広

Q 生活保護のしおりやHP改善を

A よりわかりやすい内容に改善する



Q 歴史的な米朝及び南北首脳会議に対する市長の所見は。

市長 これまで敵対していた米国と北朝鮮の首脳が同じテーブルにつき、共同声明に署名したのは史上初であり、歴史に刻まれる出来事であった。今回の会談が一歩となつて朝鮮半島の非核化と平和構築にむけて大きく前進することを願っている。

Q 憲法25条及び生活保護法を生かし、生活保護のしおりやHPを

改善すべき。申請の段階で制限するよつな記述は改めるべき。

健福部長 保護を受ける人が気軽に相談できるように、より分かりやすい内容に努める。

Q 扶養義務は生活保護法に優先する、とあるが要件ではない。自動車保有は身体障がい者だけに限定されるものではない。また口頭による申請も可能。改善を。

健福部長 正確に記述する。

Q 国の定義が変更されたが、4月時点の待機児童は。入所待ちの保護者に対する丁寧な説明と継続的な連絡をすべき。

一政部長 48人。保護者の不安を取り除くことができるよう丁寧な対応に心がける。

Q 甲南町の基幹農道磯尾34号線を早期に市道認定を。

建設部長 道路構造及び用地、占用物件等の整理をして検討する。



堀 郁子

Q がん相談支援センター手続きを

A 申請用紙を備えるよう病院と協議



Q この度痛ましい水難事故がありました。お亡くなりになられましたお子様、ご遺族様に対し心からお悔やみ申し上げます。二度とこのような悲しい事故が起きないよう側溝に柵スクリーンを早急につけては。

建設部長 ごみがたまり水があふれ危険な時もあり、要望の地元区と協議し設置を検討。

Q 通学路近くの家の前に立つなど見守りボランティアの募集をしては。

教育部長 できる範囲で自然な形の見守り活動をお願いしたい。

Q 中学生から30歳前後世代のがん治療の対策が遅れている。中学校でのがん学習を積極的にしては。

教育部長 全中学校で実施。4校では外部講師。充実を図る。

Q 中学生へピロリ菌検査。乳がん検診グループの助成。がんの支持療法の推進。がん相談支援センターで手続きできないか。がん治療後のワフチン再接種の助成の5

点質問。

健福部長 10代の感染率が10%をさるため今はしない。乳がんの自己触診法はチラシを配布。支持療法は国に研究開発要望。センターに申請用紙を備えるよう病院と協議。再接種検討。

建設部長 新水口宿公園を観光用に。前向きに検討。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

障がい者就労定着支援はどう図る

民間活力を活かすこと含め検討



第2次障がい者基本計画中間見直しで、生涯を通じた一貫した支援の実現が求められるが、相談などの現状は。

健福部長 年間、相談17万328件、実人数948名の方に対応。年々増加する対象者の支援の仕組みづくりをすすめている。

幼児期から成人までの発達支援体制の充実と切れ目のない支援システムを。

健福部長 学校卒業と同時に福祉サービスだけの利用でなく専門学校・職業訓練校などの多様な進路選択から就労につなげるニーズが多い。市の課題である。

特別支援学級の現状は。

教育長 支援学級在籍生徒数が増加傾向。専門知識を持った人材育成が必要。心理士や相談員による進路相談や心理検査等に取り組んでいる。

不登校生への支援は継続できているか。

教育長 毎月、サポートネット

会議で個々の状況共有を図っている。その後の対応を福祉課との連携協議で対応していく。

障がいのある人が就労できる支援の仕組みづくりは、国の新制度を効果的に準用すべきでは。

市長 自立に向けた相談機能の充実、地域生活拠点整備、地元の民間企業への障がい者雇用推進など、社会参加できる基盤づくりに自ら努めたい。親なき後の暮らしについても公的援助としてどうなのかも検討していく。



始まった就労定着支援制度

土山 定信

通学路の安全確保は

検証も含め検討する



山内小学校、鮎河小学校は閉校となり、そのことにより通学方法が危険となったと考えるところがあるので、市の考えを聞きたい。

教育部長 バス通学の実態については、承知しているので、関係部局と協議していく。

近江土山バス停から、学校までの通学路に、広い水路をまたいで通学しているときもあり、さらに国道の横を通学している。安全対策が必要と考えるが、市の見解を聞く。

教育部長 通学路については、指摘のように、安全第一に考えている。通学路の検証も含めて、関係部局と検証していく。

このバス停から学校までは国道一号の横を通らなければいけない、子どもたちを守っているガードレールを強化できないか。

建設部長 今設置されているガードレールは、国土交通省の管理であり規定通りの国道用で、さらに強い高速道路レールへの変更

については、難しいと考える。

水口町から土山町末田区を通る県道西明寺水口線は、通学に使っている。前回土山町の同僚議員も質問している。その後の対応を聞く。

建設部長 危険な状態は把握しているので県に道路照明も含めて強く要望を重ねていく。



国道横を通学する児童

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 將之

Q

公民連携を人事交流にも

A

民間を活用できる部分は積極的に



Q マーケティング4・0とは顧客の自己実現欲に訴えかける手法。行政に置き換えると、市民自身が持つ「本来的な自我を実現しよう」とする欲求のこと。マーケティング4・0の時代に入り、社会的自己実現消費の波が来ていると言われており、生活者の調査から、どこに住んでいる人でも、その地域に関わりたいという気持ちを持っていることが分かってきている。

こうしたことを自治体運営に生かして行くことは大変重要であると考えことから、今回は公民連携について問う。

公民連携は、第3次行政改革大綱のなかで、「民間活力の導入」と記しているが、現状はどのように取り組み、評価しているのか。また、公民連携には行政と民間との人事交流も考えられるが。

他市では公民連携に関するガイドラインが作成されており甲賀市でも必要ではないか。

市長

民間活力の導入は、「アウトソーシングの推進」と「公共施設の効率・効果的な管理運営」に重点的に取り組む。

人事交流は、複雑、多様化する行政ニーズに対応していくには、一層の業務の効率化や専門的な知識が必要となることから、民間の力を活用できる部分は積極的に取り入れていきたい。



公民連携で活用が期待される市内旧小学校

岡田 重美

Q

これまで同様安定ヨウ素剤備蓄を

A

屋内退避が効果的、備蓄はしない



Q 市民の命と暮らしを守る立場から、原発再稼働反対を表明すべき。原発ゼロ・再生自然エネルギーの社会へはたらしきかけるべき。

市長 国の責任において判断されるべきと考える。

Q 原子力防災計画の変更で安定ヨウ素剤の防護措置を行わないとされたが、これまで同様に安定ヨウ素剤は備蓄すべき。

危機統括監 30 km圏外であり原子力規制委員会の指摘により、屋内退避が効果的であると判断し、安定ヨウ素剤の備蓄は行わない。

Q 一定所得以上の人の介護保険利用料の3割負担導入はやめるよう国にはたらしきかけるべき。

市長 制度の持続性を高める点から導入されたもの、国で議論して決められたものと承知している。

Q 信楽で乳児健診が再開。土山での乳幼児健診の再開はいつか。

市長 医師など専門職に協力いただき実施計画を立てる必要がある。



現存の松は少なくなったが、当時の面影を残す松並木

建設部長 松枯れ時薬剤注入等を行う。保全を前提としつつ、通行の安全を最優先に対応する。

Q 旧東海道松並木の松枯れ対策は。

Q 通学路の安全点検は、全ての危険要素のチェックが大事では。

教育部長 想定し得なかった箇所や見落としがちな箇所等あらゆる危険要素のチェックが大切である。

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

谷永 兼二

Q 地域おこし協力隊の展望は

A 市独自の制度を研究していく



Q 隊員の定住や起業はハードルが高いと感じたが、市はどんな支援をしているのか。

総政部長 隊員に定住していただくためには、活動をきっかけに安定した収入が得られる仕事につなげる必要があると認識している。任期終了後も引き続き国の制度を活用して起業支援をし、定住や起業につなげていく。

Q 地域おこし協力隊の受け入れで甲賀市は何を得たか。

市長 地域課題に取り組んでいただいている。この間、クラウドファンディングや新商品開発などそれぞれの地域に一定のインパクトを与えていただいている。今後、隊員の取り組みが地域の課題解決につながるものと期待している。

Q 色覚の特性に配慮し、より多くの人に利用しやすい配色の製品や施設・建築物、環境、サービス、情報を提供するという「カラーユニバーサルデザイン」の考え方が社会に普及し始めており、学校教



色覚に配慮した色チョーク

育現場でも配慮が必要である。黒板の板書において色覚に配慮したチョークを導入してはどうか。

教育長 特に文字については、より分かりやすい白色や黄色を使用するよう周知している。色が判別しにくい色チョークに関しては、色覚対応チョークの効果等を考慮し、導入について検討する。

山中 修平

Q コミバス補助金と利用客拡大策は

A 高額補助に見合う利用増加を目指す



Q コミバスへの補助金算定は。

建設部長 直近の人件費、燃料費、修理代、保険料などの経費と、運行収入の差額を補助している。

Q 最近の利用者数推移と背景は。

建設部長 平成26年をピークに3年連続で減少している。通学送迎の子どもの減少とマイカー送迎の増加が要因とみている。

Q 高齢者の行先から考え、油口、甲南、貴生川から乗り換えなしで甲賀病院へ行く便が必要では。

建設部長 今の輸送能力からすると、路線延長には減便の必要が生じる。財政負担、運転手確保を含め、今後よく検討する。

Q 他市には病院行きのルートを増やして、利用客が大幅に伸びた事例もある。当市では今までから「JRを乗り継いで甲賀病院へ」との答弁だが、もっと市民の便宜や幸せを考えるべきでは。

建設部長 JR草津線の増便を求める声も多く、市内公共交通機関のベストミックスを図ることが



貴生川駅とコミュニティバス

最も重要。

Q コミバスの走行距離は年間2百万kmになるが、交通事故件数は。

建設部長 29年度は9件発生。Q バリアフリー低床バスの普及と計画は。

建設部長 現在、全39台の内26台で、平成40年度を目途に入れ替える。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 恒典

Q 地域のLED照明導入促進は

A 基礎交付金を活用いただきたい



Q 市内の防犯灯及び道路照明灯の現状は。

市環部長 市が所有する防犯灯は3398灯、市道に設置されている道路照明灯は222基。

Q 地域が所有する防犯灯等は。

市環部長 担当による調査では8219基。

Q 防犯灯等のLED化や整備に対する市の考えは。

市環部長 市所有の防犯灯は平成29年度から4年間ですべてLED化する計画。区・自治会所有の防犯灯は自治振興会に交付している基礎交付金を活用いただきたい。

Q 学校プールの安全対策は。

教育長 保護者と連携を密にし健康状態を把握しながら安全管理体制を整えている。

Q 学校プールの材質と形状は。

教育部長 材質はFRP製が17、コンクリート製が8、その他2となっている。



市内の学校プール

Q こどもくりの整備効果と今後の方向性は。

市長 子育て中の方々の安心、安全につながっており、今後も妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援を行っていく施設として機能の更なる充実を図っていく。

Q 開設一年間の利用状況は。

市長 子育て支援センターは9171人、てるてるパークは2万1820人の利用があった。

山中 善治

Q 太陽光発電と「まちづくり」

A エネルギーの有効活用にも効果的



Q 太陽光発電の現状は。

農委局長 平成24年度から29年3月末時点で、畑、田から太陽光発電施設に係る農地転用は合わせて122件ある。

産経部長 航空写真を活用した調査では、26か所、約6haで、年間合計約552万6000キロワットと推定される。一般家庭約1500件分の年間消費量に相当する。

Q 太陽光発電が大いに利用されていることは、甲賀市の気候・風土・地形等の立地条件に恵まれていることの証明である。一方、収入減少等により、農業離れや後継者不足問題、不耕作地の増加と課題も多い。本市の中山間地において少しでも住み易い所にするのできる手段の一つとして太陽光発電の導入が役立つと考えるが。

(市内太陽光発電の実例)

- ・「甲賀市みんなのまちを守り育てる条例」を遵守した開発。
- ・工事車両の区内通行規制や、協力金など、業者と協定の締結。



市内の太陽光発電所パネル設置面が全面貯水池になっている

総政部長 第2次甲賀市総合計画においても「新エネルギー等の利用を拡大し、市民生活や事業活動等での導入を促進する」としている。

Q 東京パラリンピックのホストタウン登録に関連して、障がい者スポーツ協議会の設立が必要では。

教育部長 他部とも連携し検討する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小西喜代次

Q お茶の寒干害、後継者育成対策は

A 茶業の持続的発展のため支援する



Q 41年ぶりにお茶の寒干害が発生した。対策の具体的な対応と今後の課題は何か。農業災害補償制度や救済制度は、農業者の負担軽減と後継者づくりにも影響を与える。後継者育成の対策はどうか。

産経部長 有機質肥料の購入費支援を行う。国・県には老朽茶園改植の補助枠の拡大や収入減による制度資金貸付などを要望。茶の持続的発展、多くの後継者就農のため必要な支援を行う。

Q 売電目的の太陽光発電施設の開発と環境保全の調和をはかる市独自の対策が必要。平成29年3月議会で、規制の方向を検討するとあったが、その後の検討状況はどうか。

建設部長 規制は現行法で図れており、新たな規制は考えていない。

Q 小学校での「道徳」と「英語」の教科化への市の対応はどうか。

教育長 来年からの本格実施に向け、市独自の対応についても検討する。



太陽光発電での甲賀市の固定価格買い取り制度開始後の新規導入容量の累積ペースは断トツの県内一位

討する。

Q 旧甲賀病院跡地に医療と福祉ゾーンを求める7000筆の署名は当時副市長の現副市長が直接受け取った経緯があり、市民の声を聞くという姿勢からして聞くべきではなかったか。

市長 庁内で検討されていないので、あらためて意見を聞くことはしなかった。

奥田 宏嗣

Q 地域環境を整える空き家対策は

A 所有者を調査して管理通知送付



Q 空き家の定義とは。

建設部長 概ね一年居住なく、放置すれば危険、衛生上有害、景観悪化の物は「特定空き家」。市内1400軒空き家有。内0.8%が特定空き家。生活環境に悪影響な所には指導。空き家バンク制度は登録で全国に情報発信。空き家活用リフォーム促進事業補助金も実施。

Q 空き家・耕作放棄地問題について市長の考えは。

市長 どちらも増加傾向。農地付空き家活用の取り組み。農業委員会等と連携し有効な施策検討。提案：空き家を出さない為に普段から親族、地域でのコミュニケーションが大切。

Q 第一小通学路の安全対策。

建設部長 通学路グリーンベルト、水路柵は地元要望や財政面を考慮し検討。側溝蓋掛けは民家の協力が必要。財政面等を考慮し対応。

Q 事故多発交差点への信号機。

横断歩道設置について。

市環部長 信号機設置は1時間に300台の交通量と年間2件以上の人身事故発生が条件で滋賀県公安委員会が判断。横断歩道設置も同様。現在の設置は困難。

Q 池田団地北端こみステーション付近、側溝蓋掛けについて。

建設部長 危険性を認識。降雨時水量を調査。財政面を考慮し検討。



側溝蓋掛け、グリーンベルトの設置で通学路の安全確保を

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

竹若 茂國

Q 甲南の保育園整備が遅れている

A 早期の整備が必要と考えている



淳 里見

Q 紫香楽宮跡を特別史跡に

A 史跡整備を確実に進めていく



【幼保再編】

Q 甲南地域の幼保再編に向けて、市が積極的に地域と話し合いを。

市長 施設は地域の中心的存在、地域の皆様と話し合いを進める。

Q 保育園の老朽化による子ども、職員の安全確保が必要。

市長 直すべきところはすぐに、安全の確保を指示している。

【スポーツ指導】

Q スポーツ界では、指導の在り方が問題に。甲賀市の現状は。

教育部長 学校、スポ少等子どもが体力、健康に配慮して指導している。

Q 子どものスポーツ活動における基本方針は。

教育部長 少年期のスポーツ活動は、心と体の育成上大切。全ての子どもがスポーツを楽しみ、体力作りのできる環境整備を図る。

【観光産業振興】

Q 観光振興における甲賀流DMO地域再生計画は。

産経部長 観光協会を中心に観

光関係団体の皆さんと協議、意識の共有化を図り、マネジメント能力のある組織体制作りを進める。
Q 拠点施設だけに捉われないことなく、地域の観光資源を活かした包括的な考え方を。

産経部長 地域資源を有効活用した「忍者の里」に相応しい計画の中で、2020年を目指し、立ち寄ってもらえる施設を考えている。



矢川神社手筒花火

Q 消防団に配備されているポンプ車は準中型免許が必要な場合があるが、若い団員は持っていないことが多い。今後の市の対応は。

危機統括監 現在は、主に中堅クラスの団員が運転しており、直ちに影響はないが、消防庁の通達を踏まえ、「免許取得に係る公費負担制度の創設」また、「普通免許で運転可能な車両の購入」を消防団と協議して対応していく。

Q 余裕教室活用ガイドラインの特徴と活用事例について、公共施設の最適化計画との整合性について質問し、「雲井くもっこ児童クラブ」について、今後の対応は。

こ政部長 「雲井くもっこ児童クラブ」は、今後定員を上回ることで予想され、来年度4月に間に合うよう、関係部局と協議、調整を精力的に進める。

Q 紫香楽宮跡を特別史跡に。現在の取り組みと、今後の進め方は。

教育部長 地元住民へのアンケート調査した結果、7割を超す

住民が、まちづくりに紫香楽宮跡を生かしていくことを希望。特別史跡指定の前提として、整備計画に基づき、遺構を目に見える形にする。

市長 健全な形で後世に継承する責務がある。地域の活性化や観光振興に活かす必要があり、計画の具体化を図りたい。



整備が待たれる紫香楽宮跡

第7回 議会報告会レポート

議会基本条例に基づき、第7回議会報告会を5月22日(火)、23日(水)の両日、水口(市役所別館)、甲賀(子育て世代包括支援センター「ここも〜り」)、信楽(開発センター)の3会場で、総勢137名のご参加をいただき開催しました。

議会報告会は、市民の皆様に向の議会活動状況を知っていただくとともに、市政に対するご意見やご提言を直接伺い、市民に開かれた議会を目指すために実施しているものです。

今回の報告会は、「議会報告会が変わります」をアピールポイントに掲げ、過去6回の報告会の反省も踏まえ、報告会の方法等を全面的に見直し実施しました。

前回までの報告会は、3月議会の予算と9月議会の決算をテーマに報告会を開催してまいりました。しかし、市民の皆様から「もっと身近なテーマで報告会を開催して欲しい」とのご要望が多数あったことから今回の報告会は、議会の



議会報告会 総務班の様子

中で協議機関として構成してあります3つの常任委員会(総務常任委員会・厚生文教常任委員会・産業建設常任委員会)単位で班編成を行いました。各常任委員長を班長とし、それぞれの委員会が審議・調査した市民の皆様により身近なテーマを選び、報告会と意見交換会を実施しました。



議会報告会 産業建設班の様子

各班会場とも多くの市民の皆様のご参加をいただきました。なかでも、子育て世代包括支援センター「ここも〜り」を会場に開催の厚生文教常任委員会班の報告会では、議員からの報告は一切行わず、キャッチフレーズも「子育て中のママ・パパ集まれ!」として、子育て中のお母さん・お父さんと

の座談会に終始するという、全く新しいスタイルで工夫を凝らした「議会報告会」を開催しました。

従来からの報告



議会報告会 厚生文教班の様子

会場の反省として、今までは報告会を開催することが目的となっており、後のフォローがほとんど出来ていませんでした。今回からは、いただいた意見や提言をそれぞれの常任委員会で一つでも、所管事務調査等に反映していきたいと思っております。甲賀市議会は、議会基本条例に基づき、より開かれた議会を目指し、さらに工夫を凝らした議会報告会の開催に努めます。今回の議会報告会にご参加いただきました市民の皆様から厚くお礼申し上げます。



議会報告会3会場の概要

班名	開催日時	開催会場	報告会の主なテーマ	参加人数
総務班	5月22日(火) 午後7時30分	信楽開発センター (信楽)	①平成30年度一般会計予算 ②市役所(水口)周辺整備事業 ③信楽市民センター新築及び、周辺整備事業 ④選挙開票事務不正事案	49名
厚生文教班	5月23日(水) 午前10時	子育て世代包括支援センター【ここも〜り】 (甲賀)	※特に報告テーマは定めず。 (子育て中ママ・パパの意見交換・提言座談会とした。)	34名
産業建設班	5月23日(水) 午後7時30分	甲賀市役所別館 (水口)	～忍者と信楽焼が日本遺産に認定されて1年～ 甲賀の観光を市議会議員と一緒に考えませんか。	54名
				計137名

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

Vol.1

市民のみなさんに市議会議員をみじかに感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

おか だ しげ み 岡 田 重 美 土山町在住



- Q 議員を志したきっかけは？
福祉の仕事をする中で、くらしや福祉がもっとよくなるが必要だと思ったことです。
- Q 議員になって感じたことは？
市民の声を議会に届けることの大切さをあらためて感じています。
- Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
市民のみなさんの目線に立って考え行動するように心がけています。
- Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
相手の方にしっかりと向き合い、丁寧にお話を聞くこと、伝えること、笑顔を忘れないことです。
- Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
青土ダムから野洲川ダムにかけての四季折々の風景はとってもきれいです。

ほり いく こ 堀 郁 子 水口町在住



- Q 議員を志したきっかけは？
水口町議員だった義父の背中を見て、私も人の役に立つ生き方をしたいと思いました。
- Q 議員になって感じたことは？
勉強、勉強、全てが勉強だと感じています。
- Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
いつも主婦の視線で見るということ。
- Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
市民の皆様の声に出来ても出来なくても、必ず返事をする事。
- Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
古城山の桜。手前の道沿いの桜と遠景の古城山の桜が見事です。

編集後記

▶ 議会だよりも前号から全ページカラーになりました。市民の皆様と議会をつなぎ、議会をよりわかりやすく伝える紙面作りを心がけています。
▶ 今号から市民と議員をつなぐ新しいコーナーも始めました。▶ さて、市内で幼い子どもの尊い命を失うという痛ましい事故が起こりました。このような事故が二度と起こらないようにしなければなりません。▶ また、各地で地震や豪雨等による甚大な災害が発生し、多くの方が犠牲となりました。▶ 犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。▶ 市民の命を守り、安全で安心して暮らせる甲賀市をつくるため、議会としてさらに取り組んでまいります。
(広報特別委員 谷永兼二)

市議会を傍聴しましょう

本会議は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

9月議会の予定	8月27日	本会議(第1日)議案上程 提案理由説明
	9月4日	本会議(第2日)議案審議
	9月5日	本会議(第3日)一般質問
	9月6日	本会議(第4日)一般質問
	9月7日	本会議(第5日)一般質問
	9月10日	本会議(第6日)一般質問
	9月12日	委員会
	9月13日	
	9月14日	
	9月18日	
	9月19日	委員会予備日
	9月20日	
	9月21日	
	9月25日	委員会予備日
9月28日	本会議(第7日)最終日	

カメラの



甲賀市は豊かな自然に恵まれ、子どもたちが地域の自然とふれあう体験を通じて、自然の持つ良さや豊かさを知ることができます。佐山小学校では野洲川での全校自然体験学習が伝統行事となっており、今年も野洲川の支流である田村川で自然体験学習(生き物探しや川遊び)やゴミ拾いなどを行いました。児童たちは最初に活動説明を受け準備運動を行った後、2人1組のパディを組み活動を行いました。自然体験学習では、川原の石にペインティングする「石絵」も行い、児童たちは自然との触れ合いを楽しんでいました。



(写真撮影：橋本恒典委員)